

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0401	空港利用促進事業
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-2	生活基盤の充実		
	施策	2	公共交通の確保		
目的	関係団体と連携して花巻空港の利用促進を推進する。				
対象	航空機利用者および空港利用者				
意図	花巻空港の利用促進を図る。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○空港の利用促進	岩手県空港利用促進協議会ほか3団体への負担及び補助を行い、連携した利用促進活動の実施				
○要望活動・PR活動	新規路線就航及び増便にかかる要望活動、就航先都市でのPR活動				
市民参画の有無	[対象外]				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 航空会社、国等への要望活動	回	計画	10	10	10
		実績	3	4	
② 利用促進協議会等関係団体との協議、検討会	回	計画	10	10	10
		実績	14	12	
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 花巻空港利用者数	人	目標	404,000	404,000	
		実績	396,966	399,427	
② チャーター便利用者数(花巻空港利用者内数)	人	目標	20,000	25,000	
		実績	14,964	8,232	
③ 定期便路線数(国内、国際)	路線	目標	4	4	
		実績	4	4	
成果指標の達成度	目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
花巻空港利用促進のため、就航都市との交流やPRキャラバンを実施した結果、概ね目標値に近い利用者実績となった。 チャーター便利用者数については、空港ターミナルビル増改築工事のためチャーター便数が減少し、併せて利用者数が減少となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	ビジネス客、観光客が花巻市に訪れるための公共交通であるが、利用促進等PR活動を展開しないと利用率の低下が懸念され、路線の便数減や運休に繋がる恐れがあることから、岩手県や市、関係機関が連携して利用促進活動に取り組む必要がある。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	花巻空港整備が終了(H23.7より供用開始)し、大幅な機能向上が図られた。このことから、国際線のチャーター便就航や定期路線開設に向けた取り組みや、花巻空港の利便性のPRを、関係機関と連携を図りながら進めていく。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	関係団体の活動見直しを提言するなどして一本化できる活動等があれば、負担金補助金を削減する余地はある。
	○ 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	花巻空港の利便性向上は、花巻空港を利用する全ての方に受益があり、公平・公正である。
	○ 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
これまでの活動成果として、大阪便、札幌便、名古屋便が複数便化され、花巻空港の利便性が向上した。PR不足による利用率低下は、路線運休に直結することから、利用促進のため利便性のPR活動等は今後も重要であり、関係機関と引き続き連携を図っていく必要がある。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 観光課 担当係長 鈴木 秀宜 内線 288 (単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0401	空港利用促進事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		3,072	2,273		△ 799
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,072	2,273		△ 799

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標

事業開始の背景・経緯

花巻空港は、本市に所在する空の玄関口として、市民・県民生活の利便性向上や経済発展に大きく寄与してきたが、花巻空港のより一層の機能強化と利用促進のため、各協議会へ加入して一体となった活動展開を始めたものである。

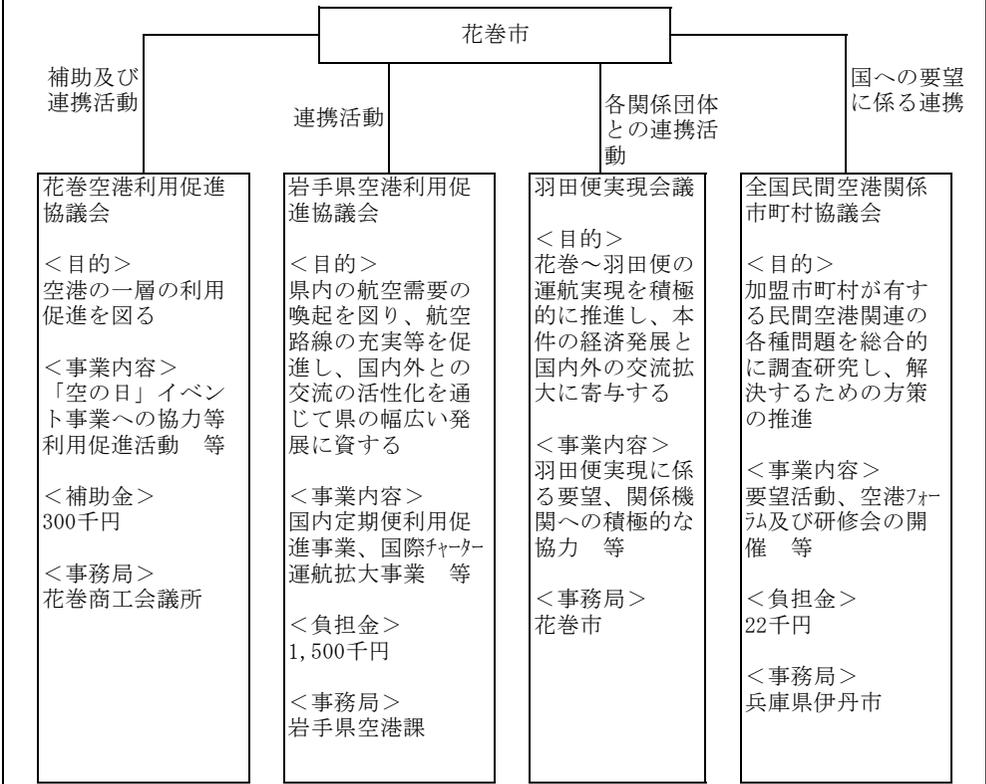
事業概要

- 空港の利用促進
岩手県空港利用促進協議会ほか3団体への負担及び補助を行い、連携した利用促進活動の実施
- 要望活動・PR活動
新規路線就航及び増便にかかる要望活動、就航先都市でのPR活動

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

就航都市との交流やPRキャラバンの実施、航空機利用促進のための旅行企画等について、各協議会と意見交換を行い実現していく。また、空港利用者のための二次交通への特典付与や、海外チャーター便の誘致による定期便化へのステップアップなどについても関係団体と連携して進める。

《事業手法の詳細》



《旅費》	協議会総会、担当者会議	92 千円
	就航先都市でのPR活動	210 千円
	台湾随行動	149 千円
	合計	451 千円